

バレーボール・東日本大学選手権

創部初の栄光に輝く

6月19日から22日まで、東日本バレーボール大学選手権が墨田区総合体育館ほかで行われ、専大は創部以来初の優勝に輝いた。

個人では、藤中謙也(経営3・宇部商高)が優秀選手賞を受賞した。

専大は春季リーグ戦で敗れた明大に準々決勝で圧勝。準決勝の慶大戦ではフルセットの末、粘り勝ちをみせ決勝へ駒を進めた。決勝の相手は日体大。第1、2セットはうまく流れをつくることで、後がない専大は第3セット、攻守ともに抜群の力を発揮し、17連続得点を奪う。25-10と大差でこのセットをものにすると、そこから流れが一気に変わって、第4、5セットを25-23、15-8と勝ち取り、大会を制覇した。



勝利のVサイン＝撮影・斉藤葵

決勝のフォーメーション



果敢に攻める藤中
＝撮影・宇佐美

藤中が優秀選手賞

バレーボール部は1947年創部。近年は一部昇格と二部降格を繰り返し、タイトルを獲得できずにいた。2014年春季リーグ戦は7位に終わり、雪辱を果たすべく臨んだ今大会で、

悲願の優勝を果たした。吉岡達仁監督は「個々の力がバランスよく出て、チーム力が発揮された結果だと思う。とにかく選手たちを褒めてほしい」と称賛した。藤中は「賞を取れたことは素直にうれしい。自分ひとりで取れたものではないので、チームに感謝したい」と語った。また、山本湧主将(商4・東亜学園高)は「この優勝は全員で戦った結果。さらに秋季リーグ戦と全日本大学選手権も優勝できるような頑張りしたい」と話した。(金高結文)

専大スポーツ

No.340

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ「スポーツ」からアクセスください
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.com/) 公式LINEを配信しています

- | | | |
|------------|----------------|------------|
| 富田直人 (経営2) | 山本湧 (商4) | 高橋拓也 (経営3) |
| 小森郁己 (経営1) | | |
| 小林之紘 (経営3) | 川波潤也 (経営2) | 藤中謙也 (経営3) |
| | リベロ 平原隆也 (経済1) | |



優勝が決まった瞬間 歓喜に＝撮影・宇佐美

サッカー・関東大学トーナメント

地力見せ初V

2年ぶり 総理大臣杯へ



初優勝を飾ったメンバー＝撮影・石川 貴重なゴールを連発した前澤＝撮影・岡野

関東大学サッカートーナメント大会兼総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会予選(5月31日～6月8日、静岡県時之栖スポーツセンターほか)でサッカー部が初優勝を果たし、2年ぶり2回目となる総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会(8月8日、大阪府)への出場を決めた。

準決勝まで無失点で勝ち上がり、迎えた駒大との決勝戦。開始早々の6分、こぼれ球に反応したF.W仲川輝人(商4・日体原高)が、精度の高いシュートでチームを勢いづける先制点を挙げた。また、クロスボールが流れたところをF.W廣瀬慧(法1・前橋育英高)が拾い、振り向きざまに右隅に決め、2-1で前半を折り返す。

後半は途中出場のF.W佐藤遼樹(経営2・磯辺高)と2得点を挙げたF.W前澤甲気(経営4・清水商高)が、価値あるゴールで会場を沸かせ、5-3で勝利した。

前澤は「接戦で終わるのは、見ている人にとっても、個人的にもつまらない。専大に求められているのは攻撃的な姿勢。そうでなければ全国で戦えない」と総理大臣杯に向けて意気込んだ。

総理大臣杯日程

【2回戦】▽8月11日(月)18時キックオフ▽大阪府ヤンマースタジアム長居▽福山大学と鹿屋体育大学の勝者と対戦

バドミントン・関東学生選手権

複A 浦谷・篠田ペア優勝

インカレ出場権を獲得



関東学生バドミントン選手権が6月2日から23日まで、さいたま市記念総合体育館ほかで行われ、女子ダブルスAで浦谷夏未主将(商4・尚志高)・篠田未来(文4・富岡高)ペアが優勝。10月に行われる全日本学生選手権(インカレ)の出場権を獲得した。

5回戦まで勝ち進み、準々決勝で長谷川・宮浦(法大)ペアと対戦。第1セットを先取されるも第2、3セットは接戦を勝ち切り、2-1で制した。

浦谷主将(右)と篠田選手権が6月2日から23日まで、さいたま市記念総合体育館ほかで行われ、女子ダブルスAで浦谷夏未主将(商4・尚志高)・篠田未来(文4・富岡高)ペアが優勝。10月に行われる全日本学生選手権(インカレ)の出場権を獲得した。

5回戦まで勝ち進み、準々決勝で長谷川・宮浦(法大)ペアと対戦。第1セットを先取されるも第2、3セットは接戦を勝ち切り、2-1で制した。

その後の準決勝、決勝はストレートで勝利し、優勝を果たした。篠田は「油断から相手に1ゲームを取られるなど、反省の多い大会だった」と振り返った。

次戦は8月の東日本学生選手権。チームをまとめる浦谷主将は「一人で多くインカレに出られるよう、一丸となって頑張りたい」と話した。

今大会はルーキーの活躍も光った。女子シングルスBで重山智佳(文1・聖ウルスラ学院英智高)が優勝。女子ダブルスBで重山・吉森朱里(商1・金沢向陽高)ペアが優勝し、両種目でインカレ出場権を獲得した。(中軍友希・経済2)

関東大学リーグ戦は、6月15日の早大戦(味の素フィールド西が丘)で前半戦を終えた。専大は8勝2分1敗で、後を追う順大に勝ち点2差をつけ、首位で折り返した。

得点ランキングは前澤が1位。アシストランキングはM.F北出雄星(経済3・日大鶴ヶ丘高)がトップに立っている。河津良一主将(文4・作陽高)は「今できているサッカーを維持しつつ、より高いレベルを求めなければならぬ。もっと攻撃的で美しいサッカーを追求したい」と話した。(岡野希春・経済2)